

フォッサマグナ開裂と中央構造線

Rupture along the Fossa Magna and Median Tectonic Line

新妻 信明[1]

Nobuaki Niitsuma[1]

[1] 静岡大・理・地球科学

[1] Inst. Geosci., Shizuoka Univ.

本州中部を切断するフォッサマグナの形成は、日本海拡大に遡る。フォッサマグナは南北に区分され、境界域を中央構造線が通過している。南部フォッサマグナについては、日本海拡大まで拡大していた四国海盆とその東縁の伊豆火山弧がフィリピン海プレート運動によって衝突・付加しているのに対し、北部フォッサマグナは日本海東縁と共通する日本海拡大時の開裂・沈降によって特徴付けられる。日本海拡大後のフィリピン海プレート運動の影響を除き検討すると、中央構造線が日本海拡大時に重要な役割を果たしており、南部フォッサマグナは存在していなかったことが明らかになった。